

1年生 手話体験

12月17日（木）は、1年生の手話体験がありました。
手話サークル「虹」から4人のゲストティーチャーを招き、お話を聞きました。



①自己紹介

はじめに各クラスの代表3人が前に出て、手話と指文字を使って自己紹介をしました。そこで正しい指文字を習いました。手話だけでなく、声も出すと伝わりやすいことを体感していました。



②いろいろな手話

次に、手話を教えてもらいました。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」には、グー、チョキ、パーを使います。「いただきます」「ごちそうさま」「ありがとう」「さようなら」「わかる」「わからない」など、日常で使う手話です。片方の手でグー、もう片方の手でパー。2つを重ねて後ろのパーの手を丸く動かします。これで「コロナ」を表します。



③聞こえない人の生活

目覚まし時計 聞こえる人・・・ベルの音でわかる。

聞こえない人・・・振動でわかる。

火事するとき

聞こえる人・・・いろいろな音が聞こえる。

聞こえない人・・・ランプの明かりでわかる。

電車でのトラブル 放送が聞こえないから、肩をたたいて教えてほしい。紙に書いたり、手のひらにゆっくり書いて知らせてほしい。

マスクをしていると、口の動きが見えないからわからないことが多い。聞こえない人は、口の動きをよく見ているんだよ。

④身ぶりを使ったゲーム

ねこ、うさぎ、泳ぐ、サッカー、象、おにぎり、、、
いろいろなものを身ぶり手ぶりを使って表現し、それを当てるゲームをしました。子ども達や、先生からの出題もあり、大変盛り上がりました。



⑤質問コーナー

たくさん話を聞いたり、体験したりしたあとに、子ども達が質問する機会がありました。この時間に学んだことを踏まえて、次の質問をしていました。

Q. 耳が聞こえないことはふべんですか？

Q. 生活は大変ですか？

Q. 手話はいつ覚えたの？

その後、各クラスでお礼や感想を手紙に書きました。